国民スポーツ大会
関係 各位

公益財団法人日本スポーツ協会
国民スポーツ大会委員会
委員長 山本 浩

令和 7(2025)年度第 1 回国民スポーツ大会委員会決定事項等について(通知)

平素より当協会スポーツ推進事業にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、去る令和 7(2025)年 6 月 3 日に開催した標記委員会において、下記のとおり決定しましたのでご通知申し上げます。

なお、資料につきましては、日本スポーツ協会(JSPO)の HP にて PDF 版を公開いたします。

以下のページからダウンロードの上、ご参照ください。

URL:<http://www.japan-sports.or.jp/kokutai/tabid/1067/Default.aspx>

【決定事項】

1. 国スポ改革タスクフォース(仮称)の設置 資料No.1
 - 「今後の国民スポーツ大会の在り方を考える有識者会議」から受けた「提言」の具体的な実行に向けた、国スポ改革タスクフォースを国民スポーツ大会委員会の下に新設することが承認された。なお、設置期間、開催回数、メンバーについては遠藤会長と山本国スポ委員長に一任することとなった。
2. 開催基準要項関係
 - (1) スポーツホスピタリティ 資料No.2-1
 - スポーツホスピタリティに関する項目を追加することが承認された。
 - (2) 医療救護ガイドラインの追記・「ドクターズミーティング」の名称変更 資料No.2-2
 - 医療救護ガイドラインを策定したことに伴う追記及び「ドクターズミーティング」の名称を「メディカル・コンディショニングスタッフミーティング」に変更することに伴う改定(関連する「国民スポーツ大会アンチ・ドーピング活動に関するガイドライン」の改定を含む)が承認された。
 - (3) 震災特例措置に関する適用期間の延長 資料No.2-3
 - 東日本大震災及び令和 6 年能登半島地震に係る選手及び監督の参加資格の特例措置の適用期間を第 80 回大会まで延長することが承認された。
3. 国民スポーツ大会功労者表彰基準の改定 資料No.3
 - 表彰の対象となる参加実績を確認するための具体的資料の例として、競技別プログラム、選手団派遣名簿、新聞、参加申込システムエントリー情報等を追記するなど、実態に即した内容に改定することについて、提案の通り承認された。

4. 令和7年度国民スポーツ大会功労者表彰対象者の推薦……………資料No.4
- 都道府県スポーツ協会及び実施競技団体から推薦された計26名を対象とすることが承認された。
5. 第79回大会本大会(滋賀県)関係
- (1)総合開・閉会式次第……………資料No.5-1
- 総合開会式を令和7(2025)年9月28日に、総合閉会式を同年10月8日に、いずれも平和堂HATOスタジアムにて、提案の通り各種プログラムを実施することが承認された。
- (2)総合開会式おもてなし演技……………資料No.5-2
- 「SHIGAに輝くおもてなしのエール」をテーマに、炬火点灯後約8分間、1,300名ほどのパフォーマーによって様々なパフォーマンスを実施することが承認された。
- (3)役員懇談会の中止及び中止に伴う令和7年度国民スポーツ大会功労者表彰式の取り扱い…資料No.5-3
- 天皇皇后両陛下ご臨席のもと、大会関係者が集う役員懇談会を総合開会式からの一連のスケジュールなどを総合的に判断した結果、中止することが承認された。
 - また、役員懇談会に先立ち開催している国スポ功労者表彰式も中止とし、表彰状の送付にて代えることも承認された。
6. 第80回大会本大会・冬季大会(青森県)関係
- (1)冬季大会 実施要項……………資料No.6-1
- スキー競技会及びスケート競技会、アイスホッケー競技会の実施要項、式典次第、宿泊要項、輸送交通要項、医療救護要項が提案の通り承認された。
- (2)冬季大会及び本大会 中央競技役員数及び所要経費基準……………資料No.6-2
- 冬季大会の中央競技役員数は3競技合計100名とすることが承認された。
 - 中央競技役員所要経費基準についても提案の通り承認された
- (3)本大会 実施要項総則……………資料No.6-3
- 大会スローガンとして、「翔ける未来へ縄文の風に乗って」を掲げ、国スポ開催によって①スポーツによる感動の創出と地域へのスポーツの定着、②自発的、積極的な県民参加による地域の活発化、③来県者への熱い心でのおもてなしとあらゆる魅力の発信、④北国ならではの大会運営の4点を実施目標として取り組むことが承認された。
- (4)本大会 競技会会期の変更……………資料No.6-4
- 標記大会における公開競技のバウンドテニス、デモンストレーションスポーツのエンジョイ! グラウンド・ゴルフ及びマラソンの会期の変更について、提案の通り承認された。
7. 第82回大会本大会・冬季大会(長野県)開催地の決定……………資料No.7
- 標記大会について、長野県を開催地とすること及びその会期を令和10(2028)年10月1日から10月11日の11日間で実施することが承認された。
 - 本件については、令和7(2025)年7月16日開催のJSPO第3回理事会の決議により正式決定となる。
8. 第84回大会本大会(島根県)開催地の内定……………資料No.8
- 標記大会について、島根県を開催地(内定)とすることが承認された。
 - 本件については、令和7(2025)年7月16日開催のJSPO第3回理事会の決議により正式決定と

なる。

9. 参加資格関係・競技団体からの要望

(1) サッカー競技の選手交代ルール変更 …………… 資料No.9-1

- 暑熱対策の観点から、サッカー競技の全種別において、選手の再交代(人数の制限なく選手の交代が可能とするルール変更)が承認された。なお、適用は第 79 回大会(滋賀県)からとなる。

(2) 柔道競技の競技ルール変更…………… 資料No.9-2

- 国際柔道連盟の試合審判規則の改正に伴い、勝敗の決定基準に「有効」を追加することとなり、本ルールの適用を国スポでも導入することが承認された。なお、適用は第79回大会(滋賀県)からとなる。

【報告事項】

1. 今後の国民スポーツ大会の在り方を考える有識者会議関係…………… 資料No.10

- 全 3 回の当該会議の終了に伴い、当該会議が取りまとめた「提言」が、令和 7(2025)年 3 月 21 日に当該会議座長の小林健氏から JSPO 遠藤会長へ手交されたことを報告。
<詳細はこちら> [国民スポーツ大会に関するお知らせ- JSPO](#)

2. 第 79 回大会本大会(滋賀県)関係

(1) 宿泊関係…………… 資料No.11-1

- 令和6年度第1回国民スポーツ大会委員会にて、団体競技に対して、宿泊取消料が発生しない配宿(負け帰り対策)を行うことが決定しているが、取り進める中で把握した以下3点の課題とその対応について報告。

① 食事条件を統一した客室の確保

負け帰り対策を行う中で、どのチームが勝ち残った場合にも対応できるように食事条件を統一する必要があるため、宿舎が指定をした食事条件を適用することとする。

その際に、欠食控除は適用できない

② 規定人数以上の申込を行った場合の宿泊取消料の支払い方法

団体競技の規定人数以上の宿泊取消料について、対象競技の全日程が終了後、宿泊・取消実績の集計を行い、各チーム・施設ごとに整理をしたうえで11月頃を目途に宿泊施設から請求が行われる。

③ 試合結果次第により、宿泊不要となるチームの発生の可能性およびその宿泊取消料

水球競技の大会運営上の都合により、1日目に予選敗退となるチームが生じる可能性があるため、当日の宿泊を取り消す場合は宿泊取消率 100%、翌日の宿泊を取り消す場合は 50%の宿泊取消率が発生すること。

なお、本件については委員会終了後、滋賀県国スポ・障スポ大会局から都道府県スポーツ協会に対して説明資料を送付することを併せて報告した。

(2) 第 79 回国民スポーツ大会における暑熱対策…………… 資料No.11-2

- 式典及び競技会、ブロック大会における暑熱対策について報告。

(3) イベント事業の実施…………… 資料No.11-3

- 各競技会場におけるイベント事業実施内容について報告。

(4)トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置対象者…………… 資料No.11-4

- 対象者は1,560名[令和7(2025)年6月3日時点]であることを報告した。

(注)本委員会終了後、資料の数値に誤りがあったことを確認。正しくは1,609名であった。

このため、資料を修正し、その旨本通知にて周知することとする。

(本通知添付資料は修正済である)